

コンクリート改質剤 CS-21

水和反応活性剤

Since 1993



製品概要

外 観	無色透明・液体
主 成 分	けい酸ナトリウム
比重(密度)	1.24~1.28(g/cm ³)
p H 値	11.3~12.3
乾燥固形分率	31.5~33.5%

躯体防水材・けい酸塩系表面含浸材

CS-21は、硬化コンクリートに塗布等で浸透させることで、コンクリート中のカルシウム成分等と安定した反応物(CSH結晶)を生成して、空隙を充填します。

また、未反応の主成分は、乾燥固化後も水分の供給により溶解し反応物を生成して施工後新たに発生する微細なひび割れ等の空隙を充填します。

これらの反応により、ひび割れ深部を含む表層部の空隙を緻密化し、水や各種劣化因子の侵入を長期にわたり抑制します。

- ◇ 水和反応活性剤を含有しており、コンクリートの材齢を問わず効果を発揮
- ◇ コンクリート構造物（駐車場・屋上・地下・水槽等）の躯体防水が可能
- ◇ かぶりコンクリートを健全に保ち、鋼材腐食を抑制して構造物を長寿命化



岡山県岡山市北区矢坂本町14-16 〒700-0075 Tel. 086-255-1511 Fax. 086-251-3270

<http://cs21.jp>

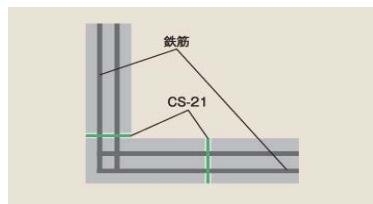


工法概要図

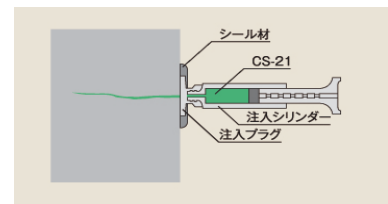
塗布



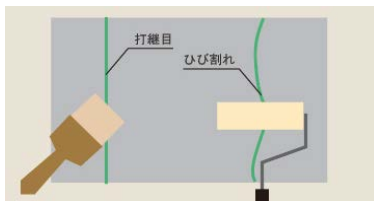
打継ぎ部処理



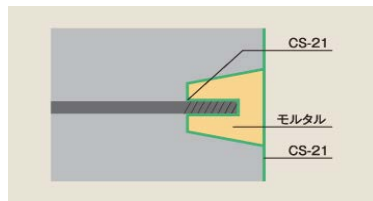
ひび割れ注入



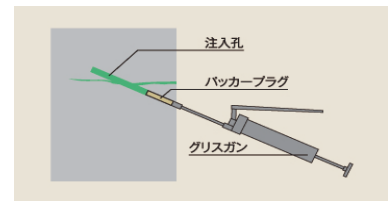
部分塗布



木コン部処理



注入止水



塗布工法 施工手順

素地調整

表面に付着している泥・ほこり、油脂類などの汚れを高圧洗浄等により除去
(ひび割れ注入・断面修復が必要な箇所は、別途処理)

表層部の水分調整

表面の乾燥状態が、指触乾燥*状態であることを確認し次工程へ移行
(乾燥している場合には散水、濡れている場合には乾燥を待つまたは強制乾燥)

CS-21塗布

表面の指触乾燥*確認後、CS-21が躯体に浸透するように塗布
※ (CS I 工法 : 200 g/m² × 1回、●CS II 工法 : 150 g/m² × 2回)

湿潤散水

塗布したCS-21の指触乾燥*確認後、湿潤散水を実施
(湿潤散水 : 粘度を調整し浸透を促進させるための散水)

施工後の含浸面養生

屋外 : 曝露状態のまま、特に追加処理の必要なし、歩行・車両通行可能
(屋内等で雨水・霧等による水分供給がない場合は、湿潤養生対策を検討)

- * 指触乾燥 : 表面を指で触って指に水・材料が付かない程度 (湿り気を感じる程度) の乾燥状態
- CS II 工法 (2回塗布) の場合は、1回目の湿潤散水後、塗布・湿潤散水を繰り返す
- ※ CS I 工法 : 主に新設構造物の表面保護、CS II 工法 : 主に既設構造物の表面保護・躯体防水
- ※ 標準塗布 (散布) 量は、適用するコンクリートの表層部の状態により増減する場合あり

NETIS情報

NETIS登録番号 : **CB-020055-VR** (登録期間 : 2003年2月~2017年3月 **期間満了につき掲載終了**)

技術の位置付け : 設計比較対象技術 (選定期間 : 2013.3.7~2016.1.21 従来技術変更のため期間終了)

活用効果評価結果 (3回目) : 従来技術 (表面被覆工法) に比べて活用の効果は優れている。

また、活用の条件の違いに対する評価の安定性を有し、多くの現場で良い評価を得ている。

◆ 詳細については、アストンオフィシャルウェブサイト[<http://www.cs21.jp>]をご参照ください。◆

製造・販売元



株式会社 アストン
岡山県岡山市北区矢坂本町14-16 〒700 0075
TEL. 086-255-1511 FAX. 086-251-3270
URL <http://www.cs21.jp>

